

上手な暮らし塾

自治会

地域を元気に！あなたの町の自治会 〜大籠町自治会〜

明るく住みよいまちづくりのためにさまざまな取り組みをしている自治会。今回は、祝日の11月3日に開催された「大籠町公民館祭り」を訪ね、大籠町自治会の西良二会長にお話を伺いました。

―お祭りを始めたきっかけは？

昔は10月23日に神社の大祭がありました。当時は自営業の住民が多く、平日でも支障なかったのですが、会社勤めの住民が多くなるにつれ、参加者が集まらなくなりました。

そこで祝日を開催日にし、神事の後に住民が参加できる催しをしようと考え、公民館祭りを始めました。

24回目になる今回は、おやしバンドの演奏やフラダンスの披露、抽選会などが行われ、来場者の皆さんはとても楽しんでいらっしゃる様子でした。



―お祭りの特徴を教えてください。―
二つあります。一つは、住民主体で開催していることです。出店では、自治会の班ごとに自分たちが作った農作物やその加工品などを販売。近隣の商店も出店、婦人部や青年部も、う

どんやヨーヨー、金魚すくいのお店を出しています。

もう一つは、他の地区からの来場者が多いことです。地区の住民が



百三十人ほどなのに対し、三百人以上の方々が来場します。

これほど多くの人が集まるのは、今まで活動に携わってきた方々の努力の成果です。先輩方を見習い、これからも続けていきたいと思っています。

―本当にたくさんのかたが来場していましたね。地区以外の方から「自分の地区にはない温かさを感じるお祭りです」というコメントをいただきました。*

このほか、大籠町自治会では、老人会での花見や、道路沿いの草刈りなどを行っています。

このように、自治会は地域のためにさまざまな取り組みを行っています。あなたも、地域の一員として自治会活動に参加してみませんか。

問い合わせ

自治振興課 ☎029-1134

消費者

ストーブやカセットコンロなどの事故に注意 〜正しく使って安全に冬を乗り切りましょう〜

寒い冬。暖房器具やカセットコンロを使う機会が増えてきます。事故防止のため次のことに注意しましょう。

「ストーブやファンヒーター」

◆使用するときは換気を

換気をせずに使用すると、不完全燃焼により「酸化炭素中毒」になる恐れがあります。1時間に1〜2回は換気をしましょう。

◆給油は火を消してから

火が付いたまま給油すると、灯油に引火する恐れがあります。必ず火を消して給油しましょう。

◆寝る時は使用しない

電気ストーブに布団が触れていたことが原因の火災や、換気不足で「酸化炭素中毒」になり死亡した事例が報告されています。就寝時はスイッチを切りましょう。

「カセットコンロ」

◆カセットボンベは正しく装着する

正しく装着されないまま使用すると、ガス漏れが発生して火災の原因となります。使用の際はしっかりと装着しましょう。

◆コンロ全体を覆うような

大きな調理器具は使わない

熱がこもり、カセットボンベが爆発する恐れがあります。コンロの大きさに合った調理器具を使いましょう。



「リコールの対象でないか確認を」

製品に不具合や欠陥があり、メーカーがリコール（回収・修理）を行っている暖房器具などがあります。長崎市でも、リコール対象製品が原因とみられる火災が発生しています。

お使いの製品が対象でないか、インターネットで「リコール対象製品」と検索、または消費者センターのホームページから確認しましょう。

また、新しく家電製品などを買ったときは、製品に同封されている「お客様カード」などで、所有者登録をしておきましょう。

メールマガジンで最新情報を発信中
登録者に、市内・県内で発生した、な消費者トラブルをお知らせします。

QRコードから送っていただく空メールを登録して



相談窓口

消費者センター ☎029-1234